

2012 年度事業計画



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

I 基本方針

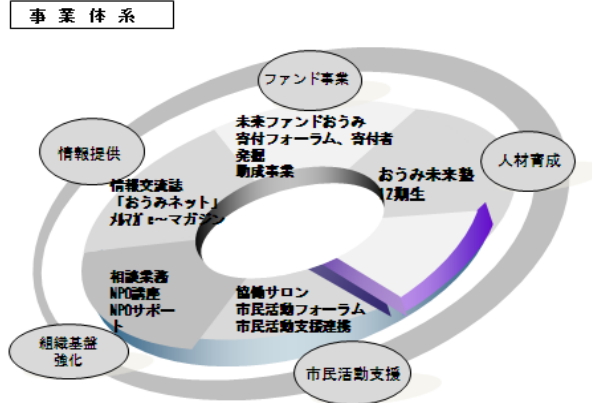
淡海文化振興財団は、1997年の設立以来「新しい淡海文化の創造」で提唱された自然と共生し、伝統的な生活文化の中で取り組む未来に価値ある地域づくりを進めるために、県民一人ひとりの主体的な社会的活動を支援してきたところであるが、公益財団移行2年となる2012年度は、これまでの活動実績を活かすとともに理事会等の組織を通じた事業体制の一層強化を目指す。

地域のことは自分たちで考え創りあげていくという機運の高まりのなか、市民の主体的な活動をより堅実で広がりのあるものにしていくための支援体制の充実が求められており、また、社会の成熟化、高齢化が進む中において「民間が担う公共」の役割は大きく当財団の役割はますます重要になってくると思われる。

こうしたことから、設立15年となる2012年度は以下の考え方で臨む。

- ① 平成23年度の国の税制改正において寄附がしやすい環境づくりがなされたところであり、創設2年目となる「未来ファンドおうみ」については、公益財団法人のメリットを最大限活かしつつ、市民や企業など幅広い寄付者のニーズに沿った基金の運営と活用に努める。また、フォーラムの開催等を通じて寄附文化の醸成に努める。
- ② 市民活動団体・NPO等の組織基盤や運営のサポートについては、関係機関と連携した相談業務やサロン等の開催を行うとともに、引き続き国・県の「新しい公共支援事業」に取り組み、2011年度実施のNPO法人の現状調査をベースにしたマネジメント支援を実施する。
- ③ 「おうみ未来塾」については、第12期生の初年度となることから存在感のある講座となるように努める。
- ④ 地域活性化につながる事業について横連携ネットワーク（県男女共同参画センター、県社会福祉協議会、県国際協会、県産業支援プラザ等）を通じ、市民事業化の掘り起こしに努める。
- ⑤ 運営に当たっては事業評価の手法を取り入れ、組織強化や職員のモチベーション、スキルアップに努める。

II 事業計画



1. 情報提供事業

(1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

・話題性とメッセージ性を重視した特集記事と活動団体の紹介記事を軸に、センター事業などの情報を提供するとともに市民活動を応援する企業等の周知を目的に、企業広告の掲載を進める。

A4判8頁 年4回発行 部数 1万部/回

配布先 活動団体、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関、

(2) 情報誌「未来ファンドおうみニュースレター」の発行

・寄付文化の醸成とともに「未来ファンドおうみ」の仕組み制度等のPRさらには基金の助成先の取り組みを紹介するニュースレターを新たに発行する。

A4判8頁 年4回発行 部数 1万部/回

配布先 企業、活動団体、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関、

(3) 活動団体データベースの整備

・活動団体データベースの整備を行い、センターでの情報提供に活用する

(4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

・地域づくり情報、人情情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集し、提供する。

(5) インターネットの活用

・センター情報などをホームページを通じて発信する。

また、地域メディア関係者のネットワークを図り、市民と地域メディアの双方向的な動きを創っていく。

(6) メールマガジン「おうみネット e~マガジン」の配信

・無料メーリングリストを利用して、活動団体等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供のサービスを行う。

2. 市民活動促進基盤強化事業

(1) 組織基盤強化事業

① 相談業務

- ・市民活動や団体の運営、法人設立、多様な事業からの収入を得るための事業化相談等組織運営全般に関する相談を行う。
- ・認定 NPO 法人の認定事務が都道府県に移されるなど制度改革に対応するため、認定 NPO に関する相談・指導を強化する。

② NPO 講座

- ・NPO 法人の設立手続き、会計、組織運営についての講座を開催する。

③ NPO サポート業務

- ・税理士や弁護士等の専門家ネットワークを形成し、市民活動団体の運営支援を強化していく。また、基金採択団体の運営等に関して、職員が直接団体を訪問してサポートし、必要な場合は適切な専門家を団体に派遣し、自立のためのサポートを行う。

(2) 市民活動支援事業

① 協働サロンの開催

- ・地域人材が出会う場として、テーマを設定し協働サロンを県内 3～4 カ所開催する。
テーマ：アート、居場所づくり、里山保全等
- ・市民活動団体・NPO と地域の多様な主体との連携強化を図るとともに市民事業の創出支援や企業と NPO との連携促進に取り組む。

② 市民活動フォーラムの開催

- ・市民社会を取り巻く環境の変化と課題を見据えて、滋賀の市民活動がより活性化し、県民が主体的に関わる地域づくりをテーマとしたフォーラムを設立 15 年記念事業として開催し、多様な主体の交流を促進する。

③ 市民活動支援連携事業

- ・地域の市民活動団体との連携強化を進めるとともに、淡海ネットワークセンターと地域支援センターのスタッフ同士が互いに研修し、またこれら支援センター間の情報交換を行うことによって相互の機能強化を進める。

メーリングリストによる情報交換

意見交換・研修会 4 回

③ 市民活動ふらっとルームの運営

- ・人と情報の交流促進を図る市民活動ふらっとルームを運営する。

3. 人材育成事業

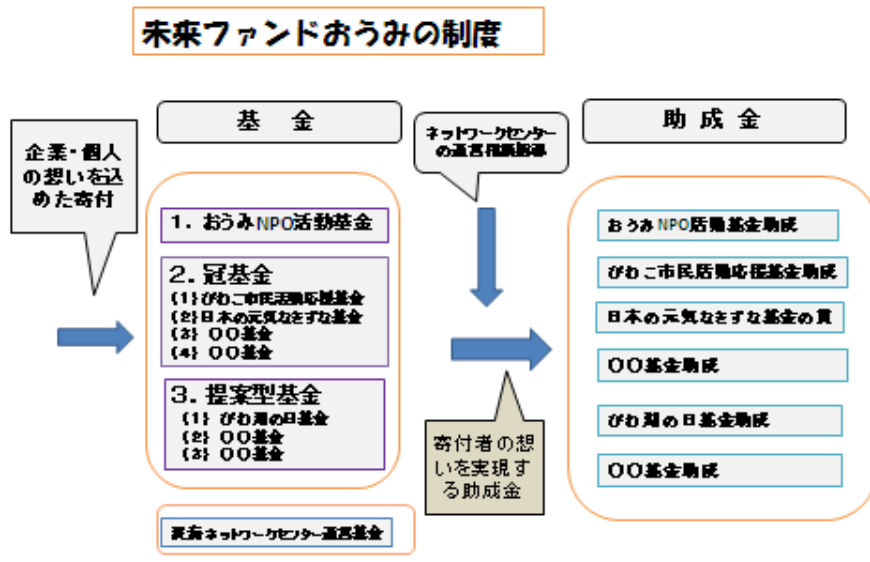
- ・おうみ未来塾 12 期生の初年度のプログラムを実施するとともに、卒塾生との携促進を図る。

(1) おうみ未来塾の運営

- ・地域づくりや環境保全活動などの新しい地域課題に取り組む人材（地域プロデューサー）を養成する「おうみ未来塾」（12期生、1年目）を運営するとともに卒業生との連携促進を図る。

4. 基金・ファンド事業

- ・「未来ファンドおうみ」の目的、仕組等について積極的広報を行い寄付者の発掘に努めるとともに、寄付をテーマとしたフォーラムを開催する。
- ・寄付文化の醸成をめざし、提案型の企画を創り、企業や行政へアプローチしていく。
- ・採択団体へのヒヤリング、交流会、中間・成果発表会の実施。
- ・「未来ファンドおうみ」のニュースレター発行（再掲）



※「1. おうみNPO活動基金」は 旧制度を引き継いだもの

(1) 寄付金収入	収入予算	2,000 千円
(2) 助成金		
おうみ NPO 活動基金助成		2,000 千円
びわこ市民活動応援基金助成		1,000 千円
びわ湖の日基金助成		800 千円
企業冠基金		500 千円
計		4,300 千円

(3) 事務費

- ・運営委員会、成果発表会、審査、広報等に係る事務費